

中日教育賞 50回

明日への道 耕し続け

未来への提言

縮小社会の到来 地域担う力育てて

秋野篤教授

「少子高齢化が進む中で、地域社会の持続可能性を確保するためには、地域に根ざった教育の重要性がますます高まっています。特に、地域に誇りを持ち、地域に誇りを育てる教育が、地域社会の持続可能性を確保する鍵となります。」

主なきこと 日本の教育

「日本の教育は、1949年の創設以来、今年で50回を迎えました。この間、学校教育は社会の変化などに対応し、知識重視から、ゆとり、人工知能(AI)で代わりえない思考、判断力などの育成へと、大きなテーマを変えてきました。さらには、子どもたちに目を注ぎ、授業や地域活動などに工夫する教員らの実践は、絶えることがない。子どもや学校を語る記事を通して、教育のこれからを考えてみたい。」

賞の歩みを振り返る

「この賞は、教育界の発展と進歩を促すとともに、教育者や学校、地域社会の発展に貢献する方々を顕彰する目的で創設されました。50年間の歩みを振り返ると、教育の歩みは決して平坦な道ではありませんでしたが、常に時代の変化に対応し、教育の質を向上させるために努力してきました。」

子ども心に寄り添う

発達障害など対象拡大

特別支援教育

生徒指導

大学入試センター試験(新テスト)が始まる

いじめ防止策で教科化

道徳

主体性む授業を模索

地道な活動に光 時代の話題反映も

先生って?

「先生って? 恩送りができる人、自分が受けた恩を子どもに引き継いでいく。社会をつなげる役割の要にいる人です。」

「先生って? 教育の専門家として「子どもたちの人間的自立を援助する」ことを責務とする人、と書いていいでしょう。」

中日教育賞とは?

「この賞は、教育界の発展と進歩を促すとともに、教育者や学校、地域社会の発展に貢献する方々を顕彰する目的で創設されました。50年間の歩みを振り返ると、教育の歩みは決して平坦な道ではありませんでしたが、常に時代の変化に対応し、教育の質を向上させるために努力してきました。」